

## 池田恒興の墓所

文 窪田 弘子



あの姫路城を建てた大名池田輝政の父、恒興のお墓がこの池田町北池野にあります。以前は龍徳寺境内だったと言われる所です。入口には重い石の扉があり岡山池田家の揚羽蝶の家紋が彫られています。

中に入ると正面に「池田恒興公の墓」、東に長男の「池田元助公の墓」南に小牧長久手で同時に討ち死にした家来23人を供養する「烈忠塔」などがあります。

### 池田恒興とは

池田町萩原に住んでいたといわれる父恒利が織田信秀に仕えていた縁で母養徳院が信秀の子信長の乳母になります。乳兄弟になった恒興は信長に忠義をつくし、姉川の戦い、長篠の戦いなど多くのいくさで手柄をたて信頼されました。本能寺の変の後は秀吉について光秀を討ち、それからは秀吉に仕えて大垣城主になり、長男元助は岐阜城主となります。

しかし本能寺の変の2年後、1584年家康が秀吉に反旗をひるがえして、小牧長久手の戦いとなり、秀吉についた恒興父子はあえなく討ち死に、戦いは引き分けとなりました。生き残った次男輝政は秀吉に目をかけられ、大垣城を継ぎ、家康の娘督姫と結婚します。秀吉亡き後は家康に仕え関ヶ原では戦功をあげて、姫路城主となり、子孫は岡山鳥取の大大名となって行きます。

### 池田氏の家紋、揚羽蝶

恒興、鳥取池田家  
(丸に揚羽蝶)



岡山池田家  
(備前蝶)

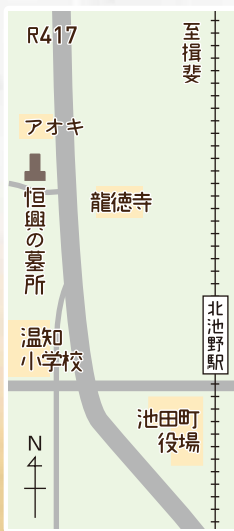


恒興は、徳川への反逆者として亡くなったので、池田氏の開祖は輝政となっています。子孫の墓参もはばかられ、ようやく江戸時代の中頃から龍徳寺へ画像を奉納したり、参勤交代の途中に立ち寄られたりと名誉回復はなされたようです。

去年9月「烈忠塔」に名前の刻んである香西又市の直系子孫の方が岡山から墓参にみえ、感動されました。



▲墓参された、岡山の香西さん



編集 池田町観光ボランティアガイド協会